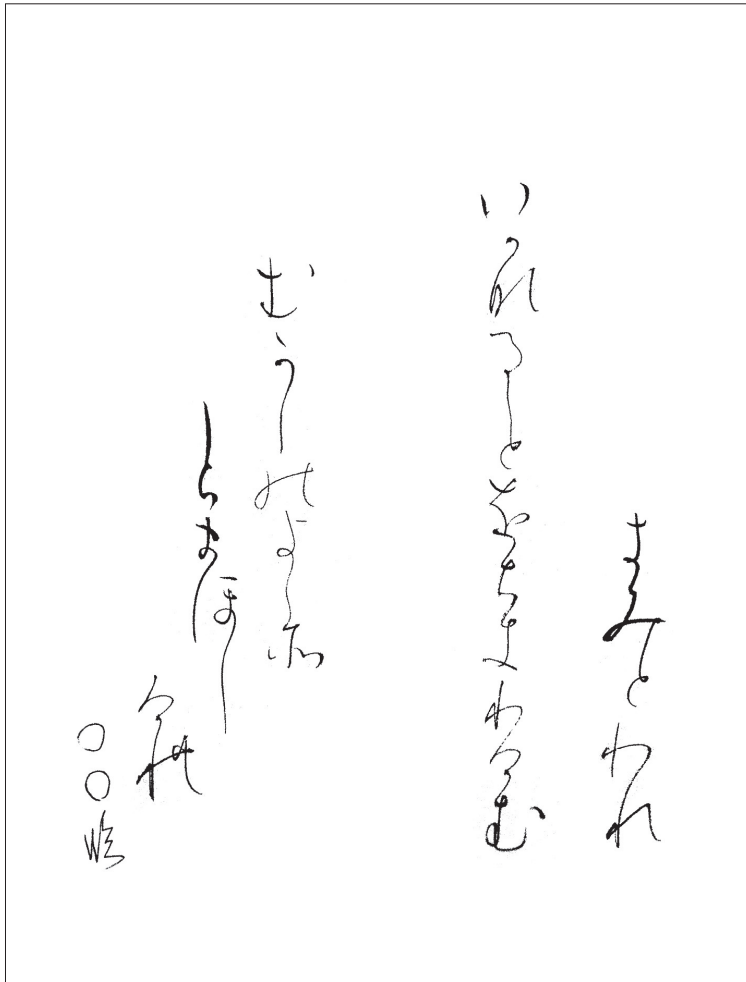


◆半紙縦五行に臨書して下さい。出品料440円

第十回

- 1、語句||支みとわれ い可那ることをち支利介む
む可し能よこそ しらまほし介禮
- 2、形式||半紙をたてに使い、二行書きの課題の和歌を「散らし書き」にする。落款は余白を考え、本文に添う大ききで「○○臨」と入れる。

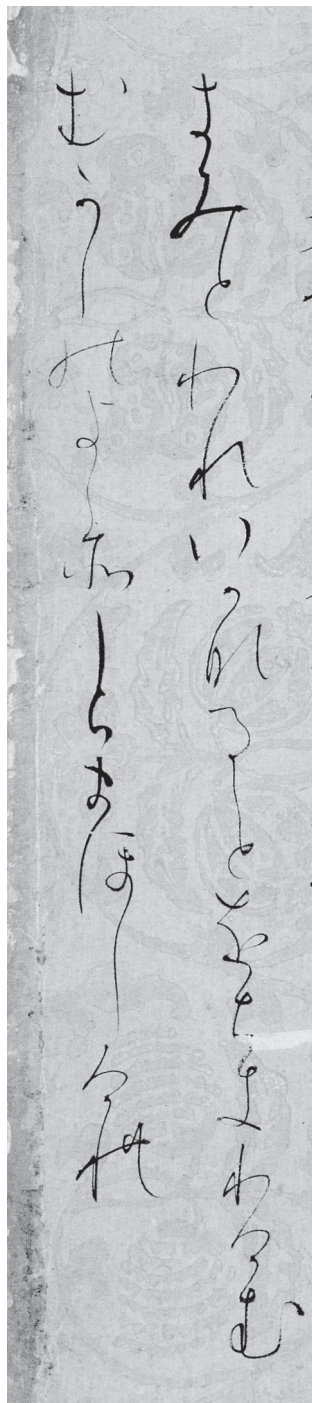
御物ぎよぶつ和漢朗詠集

- 3、概観||平安時代の三蹟の一人である藤原行成

の手によると伝えられている「御物
漢朗詠集」(粘葉本和漢朗詠集とも呼ぶ)
の臨書は、最終回となります。仮名の
大家、尾上柴舟おのえさいしゅうがこの古筆を「かな習
得の手本」と評したのは、基本的にオー
ソドックスな仮名の筆使いの学びに資
するからではないかと考えます。今回
の学びから再確認できたことを、創作
につなげてください。ここまでの学習
をもとに、臨書の「散らし書き」をし
て、このシリーズのまとめとします。

- 4、学習のポイント:「散らし書き臨書」に挑戦

- ①臨書を正しく
 - ・「われ」「利介む」字源を考え書き分ける。
 - ・「ること」「よこそ」「こ」を意識する。
- ②散らし書きのポイント
 - ・行の長短(言葉をもとに二行目を長くしてみた)
 - ・行頭の高さで行脚のまとまり
 - ・行間の変化(中央を広くしてみた)
 - ・潤濁の変化(墨つきは「支」[◎]「し」[◎]のみ)
 - ・行の傾き(傾きに合わせて行を伸ばしていくと、はるか下方で五行がまとまるような)



条幅随意部として

『支^きみとわれい可^か那^なることをち支^き利^り介^けむむ可^かし能^のよこ所^そしらまほし介^け禮^れ』

と、半切に二行の臨書をする。特に潤濁の変化を期待する。落款は、全体の調和から、位置と大きさを考え「〇〇臨」と入れる。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご活用下さい。抜粋可。

条幅部は一枚目無料、二枚目から五五〇円。

バーコード券に「条臨」とご記入下さい。名簿は条幅部で「(臨)」と表示されます。

一字書（二月二十二日締切）

課題

翰

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

毛筆部「推薦」対象 創作部門 新設のお知らせ

今年度より、春と秋の毛筆部昇級試験月に推薦合格者を対象にした「創作部門」を新設いたします。硬筆部には正教授対象の「創作部門」が平成十八年に開設されていますが、「毛筆部にも創作部門を」との声をいただき、熟考、検討の結果、このたび新設する運びとなりました。

自ら題材を選び（感銘を受けた詩句、表現したい文言など）、自運での作品づくりに取り組んでいただきます。推薦合格されるまでに養われた基礎力、毎月の競書、臨書、研究部での研鑽を通して培われた技術、作品の構成力、それらを大いに発揮し、表現、発表する場として活気溢れる部門となることを願います。

毛筆部昇級試験審査員による審査を行い、優秀作品を写真掲載いたします。尚、今後の成績結果は同人・準同人への推挙の参考にいたします。

書廷会会長 高橋 香樹

《要項》

自運作品（手本によらない）

対象 漢字・随意・かな、いずれかの部門での推薦合格者（合格部門に出品可）

（随意は推薦合格した作品が「漢字作品」か「かな作品」かで判断）

題材 漢詩、漢文、古典、短歌、俳句、現代詩、現代文など

構成・文字数自由（自詠の短歌、俳句も可）

（過去の書廷掲載作品は参考手本としない。同一字句の自運は可）

作品の大きさ 全紙以下

出品料 漢字・かな部門 大（全紙、全紙横 $\frac{1}{2}$ 、半切、半切 $\frac{1}{2}$ など）三、〇〇〇円

漢字・かな部門 小（半紙、半懐紙など）二、三〇〇円

（漢字かな交じり書は「漢字」「かな」とどちらの部門での審査を希望するか選択）

提出締切 3月22日

創作部門用出品票に必要事項を記入の上、作品ごとに袋に入れ提出
作品返却希望者は返却用封筒（宛先記入、切手貼付）を同封のこと

※出品票、出品申込用紙は2月号に同封いたします。

※ご質問、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

昇試第三部（漢字・かな）予告（三月二十二日締切）

平岡華雪先生書

往者は諫むべからず（論語）

往者不
可諫

訳：過ぎ去ったことは改めようがない。

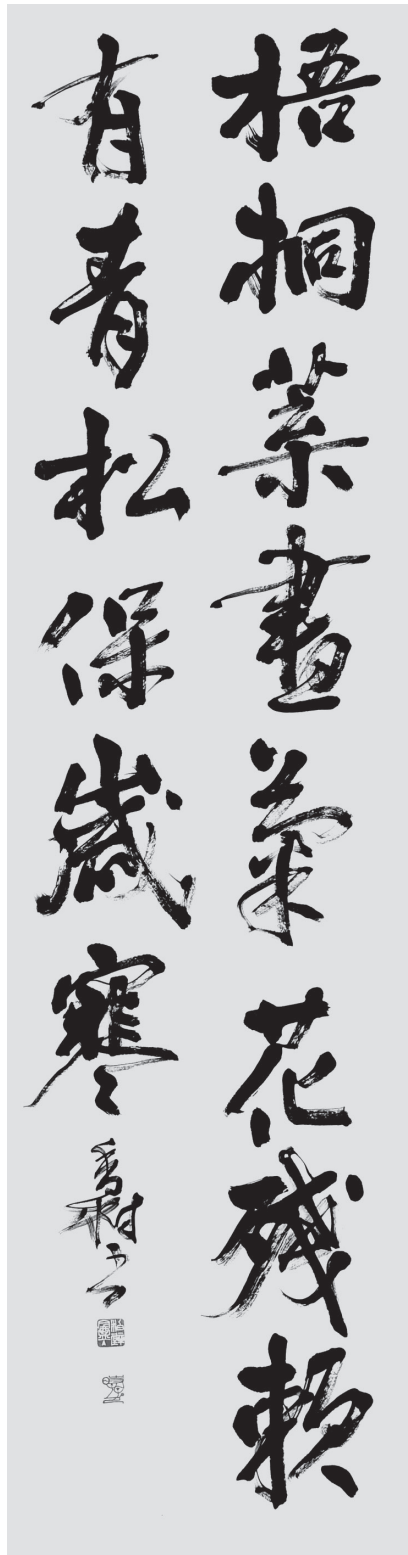
平岡華雪先生書

大和路の望の春も暮にけり（智月）

大和路の望の春も暮にけり
のぞきよ
のぞきよ

A 高橋香樹会長書

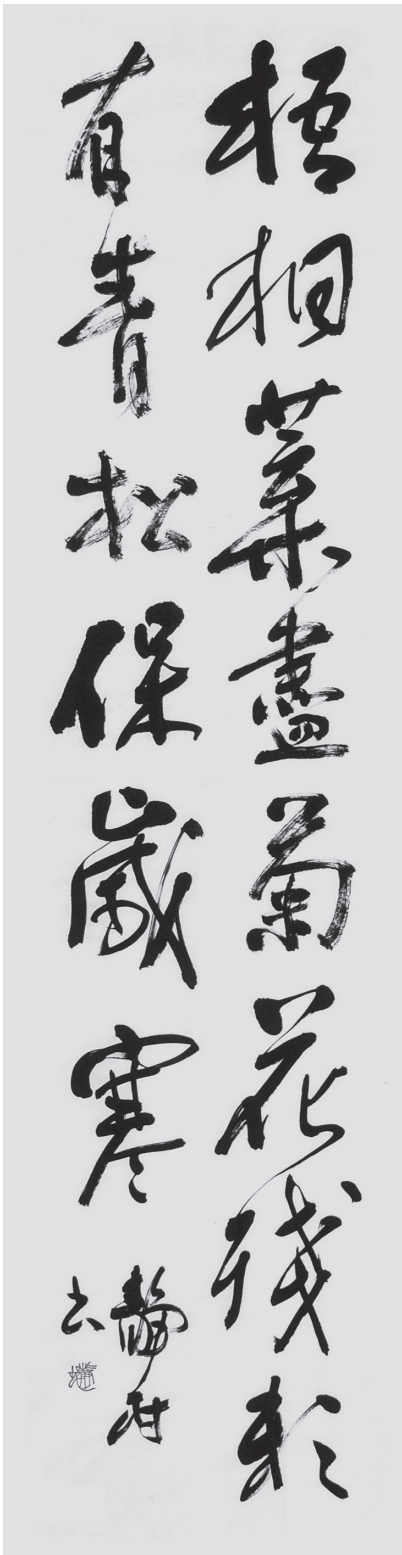
梧桐葉盡菊花殘 賴有青松保歲寒 (劉秉忠)
梧桐の葉は尽きて菊花は残つ、頼に青松の歳寒に保つ有り。



B

鈴木静村先生書

「菊」一字が草書で他は行書単体の作。「葉」は唐代にこの形が多く書かれています。「頼」は「頼」の旧字体。「歳」の「止」は「山」とする字多し。「寒」この形清代の呉昌碩が多く用いている。「木偏」が三字、「月」が二字、「草冠」が三字でてくるが、少し変化させた。墨継ぎは「花」と「松」。



梧桐 木偏に工夫。桐 相との相違明確に。花 墨継ぎ。有青松 渴筆部分。有青は連綿。保 墨継ぎ。歳 行書はこの形が多い。寒 古典に多い形。字内の脈絡、字と字との連綿は実線(実画)にこだわり、真似すると失敗が多い。要は気持ちのつながりであること。「線の強さ・活き活きした線」。これが表出できれば条幅は必ずたのしくなる。

訳：梧桐の葉は尽き菊の花も枯れたが、幸いにも青々とした松が冬の寒さに耐えている。

予告 昇試第一部漢字(三月二十二日締切)

溪雲初起日沈閣

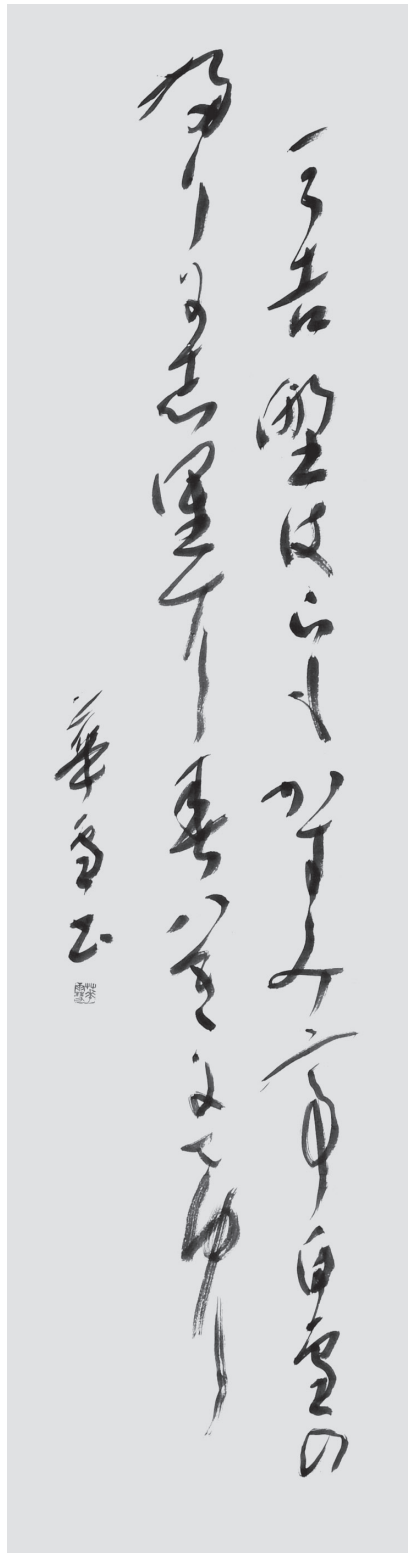
山雨欲來風滿樓 (許渾)

◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

A
平岡華雪先生書

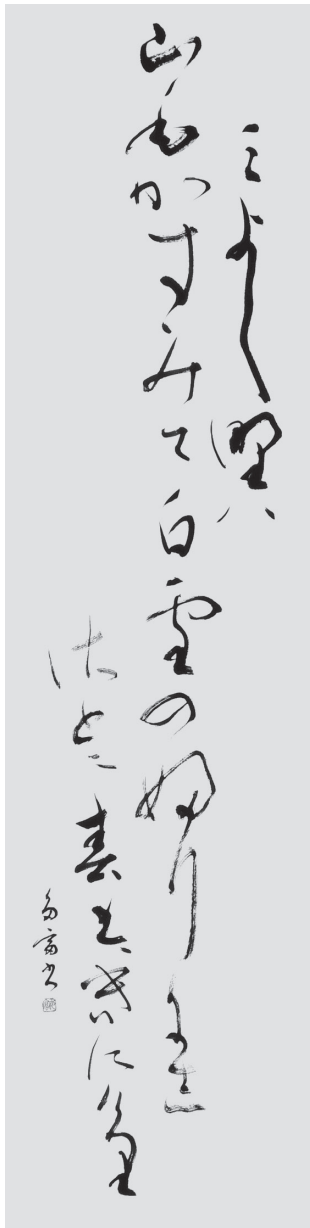
み吉野は山もかすみ雪のふりにし里に春はきにけり (新古今和歌集 撰政太政大臣)
三吉野は山もかすみ亭白雪の婦り尔志里耳春八き尔希り



B

森多富先生書

三よし野八山毛かすみ雪の婦り尔志佐と二春盤幾に介里



新古今和歌集、撰政太政大臣作。
「春たつ心をよみ待りける」の題名。新古今和歌集巻第一。春歌上の一番組に載る。

学び方

歌意：吉野の山も霞んで、寂れた古京の山野を訪れた明るい春の気配を歌っている。
春の景を思い浮かべて筆を運びました。出だし「みよし野は」を一行目とし、二行目は、はなち書で連綿せずに一行目に添わせました。三行目は、二行目を受けて上部に余白をとり、布置してみました。
作品制作の表現方法は色々ありますが、その時の思いや、感動を大切にしたいと思う一方、手を入れていくうちに勢いがそがれたりポイントが不明確にならぬよう気をつけましょう。日頃から臨書を重ね、創作と両立し鍛錬することが大切です。又、書以外の美しいものにも目を向け、書き続ける筋力を保持したいものです。

予告 昇試第一部かな (三月二十二日締切)

ひとはいさ心もしらずふるさとは花ぞ昔の香ににほひける (古今和歌集 紀貫之)

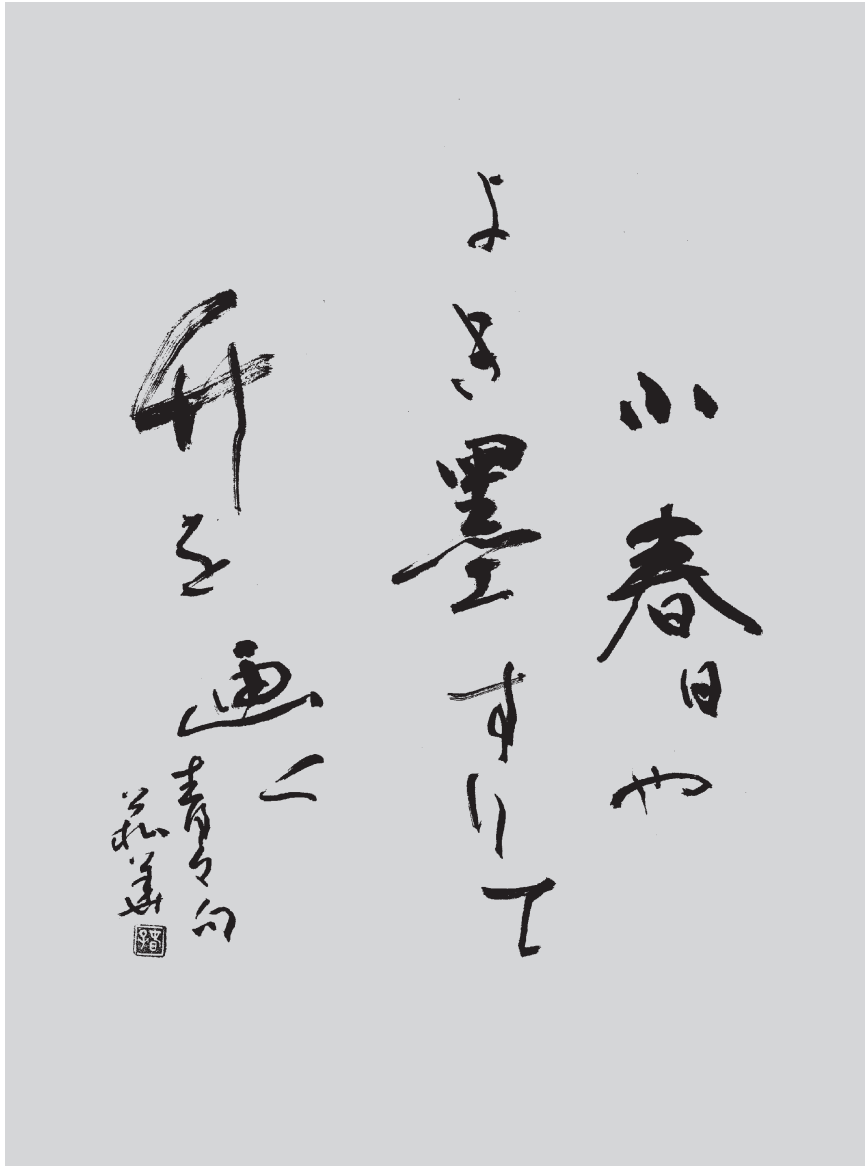
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

小暮 菘華 先生 書

小春日やよき墨すりて
竹を画く
(松瀬青々)

(松瀬青々)

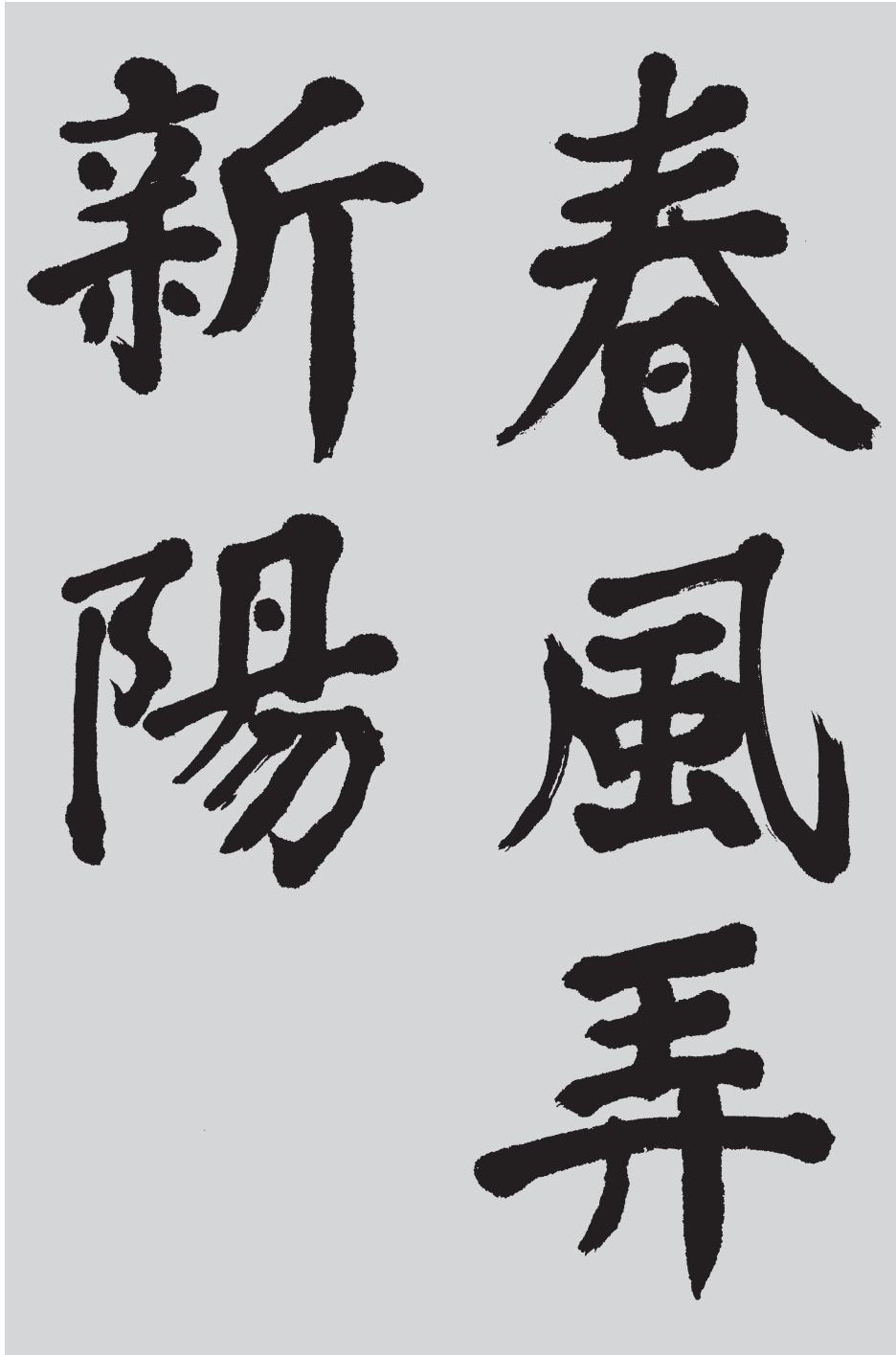
- 「小春日」はさらっと書き出し
- 二行目「よき墨すりて」を山場とし、ゆらぎつつ字間を取り、「墨」は大きく存在感を。
- 余白をとって、「竹を画く」は落款までまとめてみました。
- 全体的に下部を引き締め、上部を受ける形としました。
- ※「小春日」―「小春日和」は冬の季語。初冬の頃の穏やかで暖かい天気のこと。



松瀬青々（一八六九〜一九三七）大阪出身の俳人。本名弥三郎。「倦鳥」を創刊、主宰。関西俳壇で活躍。高浜虚子主宰の「ホトトギス」と一線を画する俳人として重きをなした。著書「妻木抄」、松瀬青々句集等。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料550円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

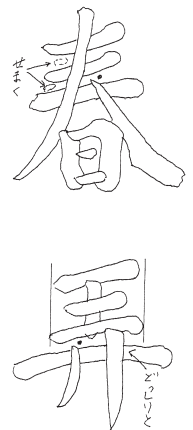


平岡華雪先生書

春風新陽を弄す(戴復古)
訳：新春になって東風がそよぐ形容。

〈注目の手法〉

「春、弄」内の・印の画は、上の画に接筆させてもよいが、付けないで覗かせた手法に注目したい。風通しがよく明るい感。華雪先生の有ち味といえる。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

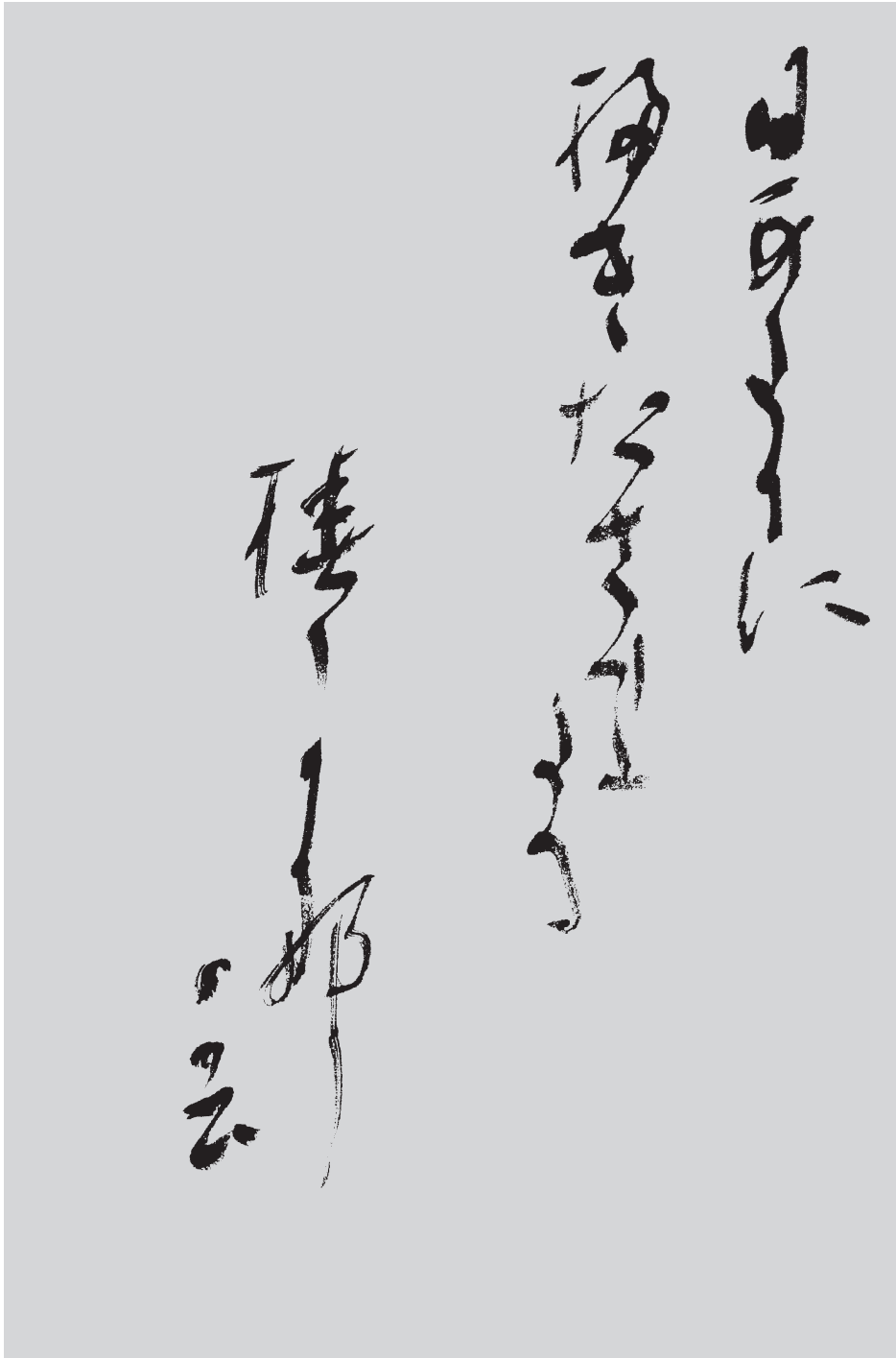
①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

日あたりに掃き出されたる椿かな (三猿郎)
 日^た多りに掃き出されたる椿^か可那

〈変体がなの習熟を〉
 「変体がな」の習熟は必須の第一、ま
 ずは取り組んでほしい。この課題中にも
 「変体がな」四字表出されているが、字
 典等を参考に、自分のものにしてほしい。

〈変体がなの側〉
 可^か 多^た
 う う
 那^な 連^れ
 那 連



予告 昇試第二部かな (三月二十二日締切)

花といふ花をたづねて草も木もわがもの顔にとぶ胡蝶かな (重胤)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

川上香蓉先生書

山光悦鳥性(常建)
山光さんこうは鳥性ちようせいを悦よろこばし

訳：朝日を浴びた山の色が鳥たちの心を喜ばせるのだろう、いかにも
楽しげにさえずりかわし。

山光悦鳥性
山光悦鳥性
山光悦鳥性

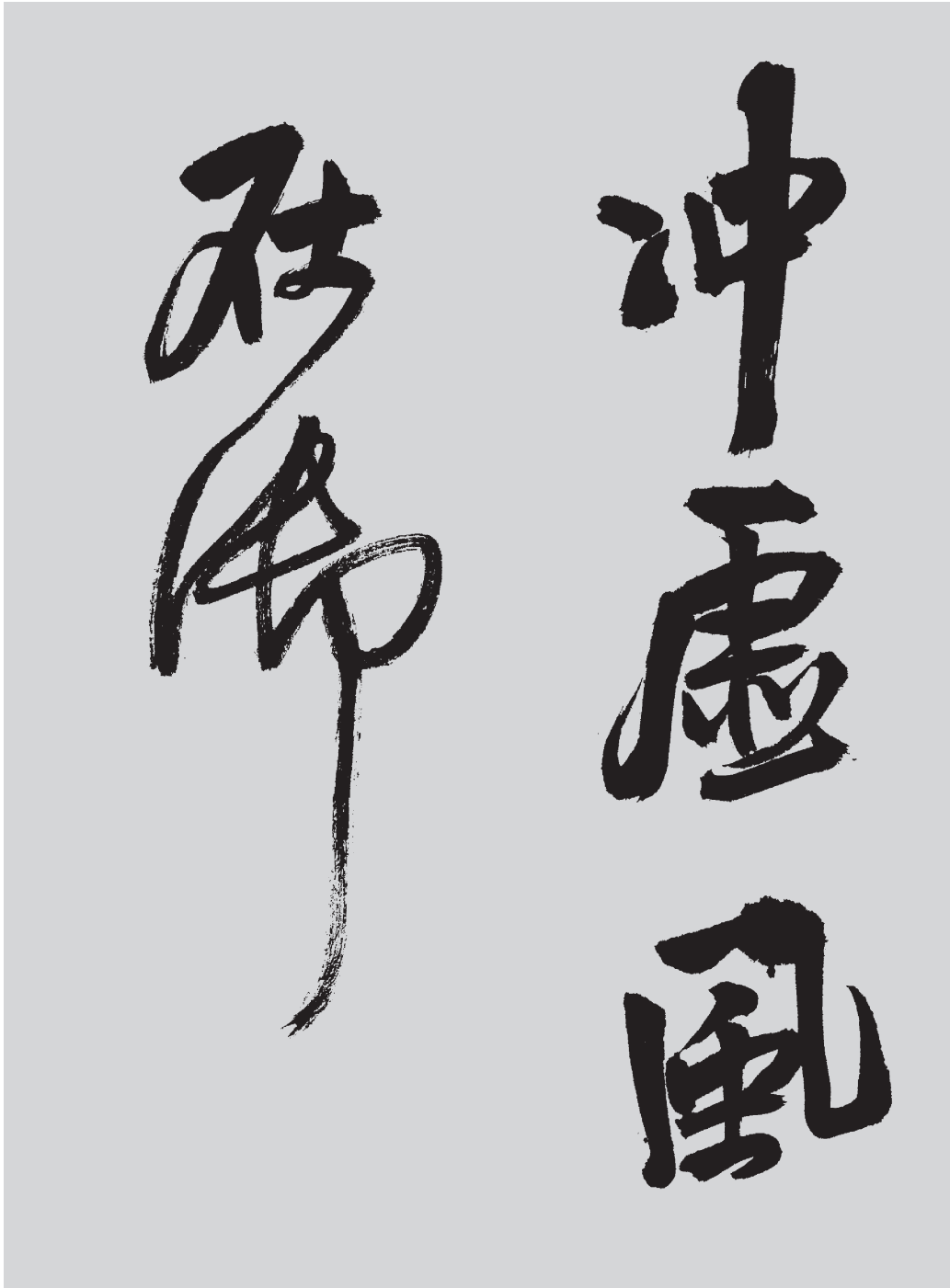
川上香蓉



予告 昇試第二部漢字(三月二十二日締切)

萬籟此都寂(常建)

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円。



王
鐸
(明)

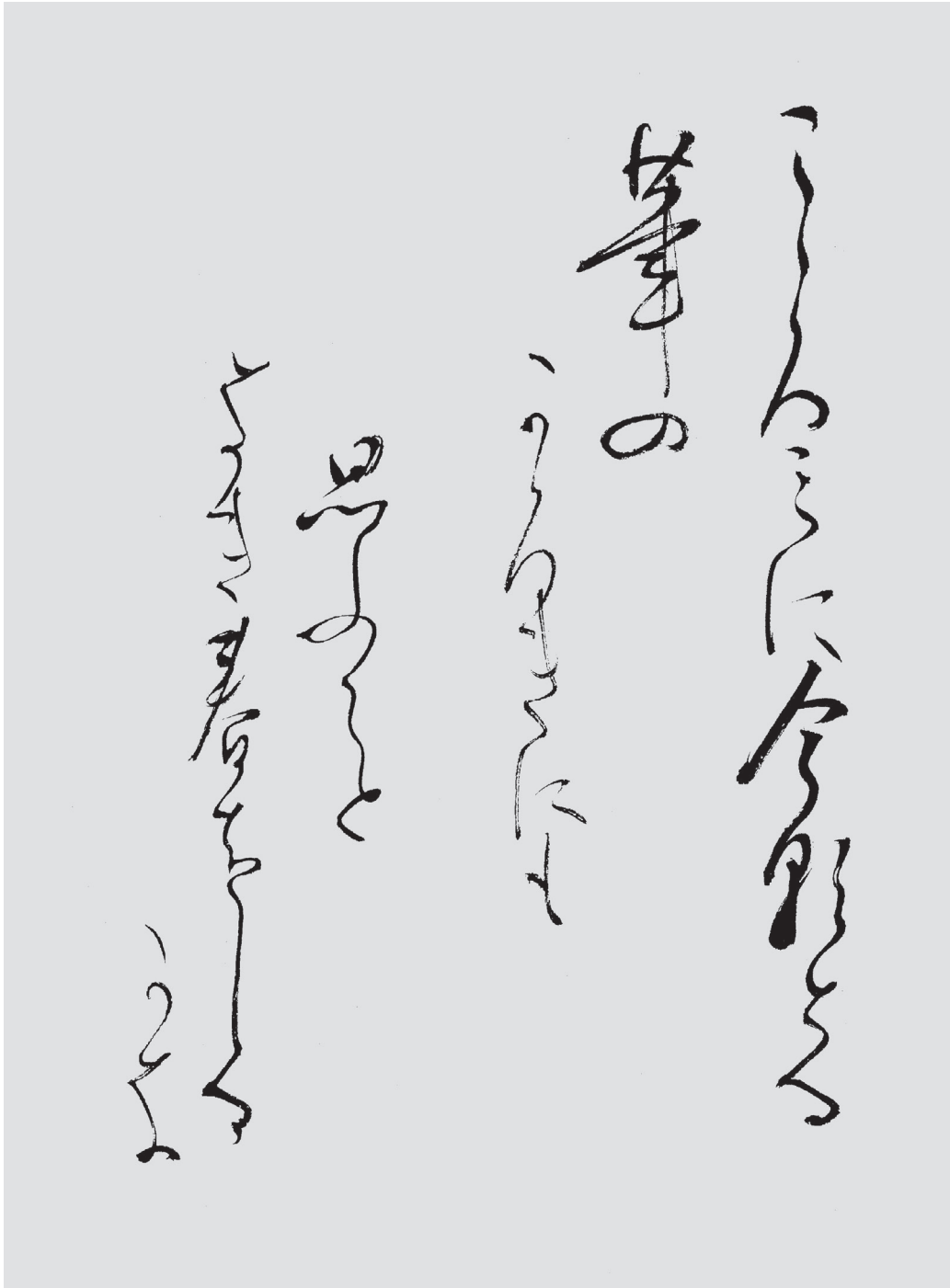
冲虚風在御
冲虚風は御ぎに在り、

中国法書選 (二玄社)

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は460円

高塚竹堂先生書

試みに今朝とる筆の軽きにも思ふことなき春をしるかな（有彰）



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は460円

赤木典子先生書

石原春香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

東洋の書画における墨は、文房四宝の
中でも特別な地位を占めていて、古来文
人墨客という言葉があるくらいである。

滑らかな直滑降に、スキーの先端は
水晶の粉を散らすように走り、後
高く雪煙りが揚がる。そのような雪質
は理想的な粉雪である。

課題 1 (初段階以上)

滑らかな直滑降に、スキーの先端は水晶の粉を散らすように走り、後には高く雪煙りが揚がる。そのような雪質は理想的な粉雪である。

『粉雪』中谷宇吉郎

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四六〇円
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題 2 (初段階以下)

東洋の書画における墨は、文房四宝の中でも特別な地位を占めていて、古来文人墨客という言葉があるくらいである。

『墨と硯』中谷宇吉郎